

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005 年 6 月 28 日及び 7 月 5 日

2005 年 6 月 26 日及び 7 月 3 日概況：

6 月 26 日に終わる 1 週間の気温は上昇し、各地の平均気温は平年を 4～8 度 F 上回った。州の中頃に前線が侵入し夜間気温が下がりその後各地に降雨をもたらした。1 週間の降水量は NW 地区で平均 1.72 インチ。SC 地区が最も少なく 0.89 インチ、東部各地区では 2.11～2.99 インチの降水量であった。気温の上昇で小麦の生殖成長が促進され、HRS は 23%（平年：21%）が出穂、Durum 小麦は 11%（平年：7%）が出穂した。

7 月 3 日に終わる週になり気温は下がり略平年並みとなった。週の始め（6 月 28 日と 29 日）に全州に降雨が有り所により雷雨があった。NC 地区の平均降水量は 5.80 インチであった。各地とも 2.64～6.35 インチの雨量であった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 3.7 日（前週：5.1 日）となった。集中豪雨は Topsoil 水分の“過多”の圃場を増加させた。

HRS 小麦並びに Durum 小麦ともに平年より多少速い進捗を示した。作柄は良好であり、前週より評価が上がった。

7 月 1 日付け USDA 発表の HRS 及び Durum 小麦の生産量予想では、HRS の単位収量は昨年実績と同数の 41.0 bu/ac であり、Durum は昨年実績より 1 bu/ac 多い 34.0 bu/ac であった。播種期が早めであったこと、その後の出穂期までの天候が生育に適し降雨が全般に多かった事がプラス要因であった。

詳細は別表の通り。

土壌水分：2005 年 7 月 3 日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	0	0	7	7
Short (%)	0	2	14	13
Adequate (%)	71	71	68	69
Surplus (%)	29	27	11	11
Subsoil				
Very short (%)	1	1	12	7
Short (%)	4	7	16	14
Adequate (%)	65	65	60	69
Surplus (%)	30	27	12	10

小麦生育状況：2005 年 7 月 3 日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Boot (%)	56	28	35	69
Headed (%)	31	11	19	18
Milk (%)	5	NA	1	2
HRS Wheat				

Jointed (%)	95	85	85	89
Boot (%)	79	54	65	67
Headed (%)	56	23	39	43
Milk (%)	10	NA	9	10

HRS 小麦の作柄：2005 年 7 月 3 日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	3	13	63	21
Last Week (%)	1	2	15	61	21

Durum 小麦の作柄状況：2005 年 7 月 3 日現在：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	1	13	68	18
Last Week (%)	0	1	17	62	20

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005 年 7 月 1 日付け USDA 生産量予想：

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
HRS	5,950	6,600	41.0	—	41.0	243,950	270,600
State	13,174	13,637	43.2	—	43.2	568,918	588,740
Durum	1,600	1,700	33.0	—	34.0	52,800	57,800
State	2,363	2,453	38.0	—	38.4	89,893	94,075

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com